

第1回 津山市久米総合文化運動公園市民プール  
整備基本計画策定委員会 会議録【概要】

○日時 令和5年1月26日(木) 10:00～11:15

○場所 津山市役所第1委員会室

○出席者

・津山市久米総合文化運動公園市民プール

整備基本計画策定委員会委員 9名

委員長 小山 京子 (美作大学生生活科学部教授)

副委員長 重松 正起 (津山市連合町内会副会長)

委員 佐野 彰彦 (津山市PTA連合会会長)

林原 郁恵 (久米こども園園長)

妹尾 出 (久米中学校教諭【体育担当】)

國米 裕喜 (久米中学校PTA副会長)

池口 周治 (久米市民プール利用者)

真木 茂 (津山市スポーツ協会副会長)

石井 信 (津山中央病院リハビリテーション部副部長)

・事務局 市長、地域振興部長、関係課長等 10名

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 委嘱状交付

4. 委員自己紹介、事務局紹介

5. 委員長、副委員長選出

・委員長 小山 京子 美作大学生生活科学部教授

・副委員長 重松 正起 津山市連合町内会副会長

(委員長あいさつ)

皆様ご存じのとおり、津山市の久米市民プールは老朽化が激しく、今後の方向性を心配していました。

昨年、基本構想が策定され、建て替えに向けて進んでいるものと考えている。

本日は第1回目の基本計画策定委員会なので、まずは事務局からの説明をしっかりと聞きいただき、情報を共有して進めていきたいと思っている。

女性の委員が3名と少ないが、多方面から多くの意見が出ることを期待して

いる。

(副委員長あいさつ)

それぞれの立場からご参加をされている委員10名のご意見で、久米市民プールがより良いものとなることを願っている。

## 6. 議題

### (1) 報告事項

(事務局説明)

- ・委員会の目的などについて(資料2・資料3)
- ・久米市民プール整備基本構想について(資料4)
- ・基本策定委員会スケジュール案について(資料5)

### (2) 意見交換

(委員)

事務局からの報告により、目的や基本構想、今後の予定などの情報が皆様に共有できたものと思います。

(委員)

利用者からの意見として、建て替えるのは喜ばしいが、2年間休止するのは困る。

75才以上の利用者も多く、休止中の代替施設が無いのは良くないと思う。

現施設を営業しながら、駐車場へ建設するのはどうか。

高齢者にとって、健康づくりの場が2年間なくなるのは困る。

(委員)

久米市民プール休館中は、2年間中学生の水泳授業が無いことになる。

コロナのため水泳をする機会が少なくなっているため、水泳授業がないと泳げない子が出てくるのでは。

部活動の地域移行の話が出てきている。久米地域でも人数のために部活動が出来にくくなっている。

水泳が一つの競技として部活動の代わりになるのではないかと考えている。

今、中学生で水泳競技に出ている子もいる。そういった子や部活動以外のスポーツをしている子が毎日久米市民プールに行っている。

資料には載っていないが、時間帯あたりの利用者数を知りたい。

たとえば、中学生が利用する時間帯が少ないのであれば、中学生が体作りや

筋トレをするための施設にすると、部活動ではないがダンス・水泳等基礎体力を付ける施設になるのではないかと思う。

(委員)

コロナのため久米中学校では、これまで2年間水泳授業が出来ていない。

今年度から水泳授業が再開されたが、中学3年生はこれまで2年間水泳授業がなかったので水着も持っていない。

今年度は3日間しか授業が出来なかった。

久米市民プールでの水泳授業は1, 2時間目を利用して行っているが、現状はプール管理者が準備できてから10時までの限られた時間で水泳授業を行っている。

授業時間は続けて2時間取っているが、実質40分程度しか泳ぐことが出来ない。

施設の利用上、午前10時には、生徒がロッカールームから退室しておく必要がある。

水着を持っていない生徒もあり、今年度は半数以上がプール授業に参加できていない。

学校としても水泳の楽しさ等を伝えていきたいと考えているが、現状の「施設オープン前に利用して、一般利用者が来る前に退室」では厳しい状況が続いている。

また、コロナの関係でロッカールームの使用制限も有り、以前のようには利用しづらいと感じている。

中学生も水泳に親しむことが出来る時間帯を設けてもらいたい。

久米地区小中学校について、今後、各小学校のプール施設にかかる管理維持費・修繕費と、年間を通じて久米市民プールへのバス移動・プール授業(指導委託を含む)を行った場合にかかるコスト比較をすれば、小学校段階から良いプール授業が出来て、中学校でもより水泳に参加できるような、より良い指導が出来るのではないか。

(委員)

こども園のプールは大きいが浅い。泳ぐと言うよりは水遊び。

その延長で楽しいと思った子は久米市民プールに通っている。

また、併設している児童クラブ利用者の中で、久米市民プールへ通っている子がいる。

小さいときから水に親しんで、楽しいと思った子は習い事として水泳へ通っている。

先生側から見ると、水の怖さを知らない子が増えるのは怖いと思っている。

久米市民プールがこども園でも利用が出来るような施設になると、年長児などを連れて行きたい。

今年度は年長、年中児はプール遊びが出来たが、3才以下の子ども達は水遊びもすることが出来ていない。

他施設では、B&G等へ行って幼児用プールを利用していると聞くが、近いのに久米市民プールをあまり利用できていないのが現状。小さな子供も利用できる施設にしてもらいたい。

(委員)

部活動の地域移行が今年度から本格的に始まる。

市民プールという観点から考えると、学校が利用するとなった場合は、指導者の問題、安全管理、移動管理の面もあり、西中学校の子が久米市民プールに行って利用するかというとなかなか難しいと感じる。

授業で使うというのはなかなか難しいのではないかと。移動時間を取られて授業時間が少なくなる。

目指す目標はたくさん資料に書かれているが、たとえば公認プールにする必要性はどこにあるのか。

複合的なレーンをたくさん作ることでいろいろな、それぞれの立場の人に使ってもらえる「小プール」・「大プール」みたいな物を作れば良いのではないかと。

「公認プール」は現在の津山市役所東側駐車場にあったものを言われていると思う。

実際部活動でプールをしている子がどれくらいいるのか。

本気で水泳をしている子はスイミングスクール等に通っていると思う。

どこの層を狙っているのかが分からない。

また、基本構想の資料3に「ワーキンググループ」とあるが、どこの学生を想定しているのか。

(事務局)

現段階では、大学生を対象として考えている。

小中高を含めるとすると、なかなか難しいのではないかと感じている。

必要あれば、小規模なワーキンググループを作成することも考えている。

(委員)

高校生の意見も入れてはどうか。「まちづくり協議会」などでも良い意見が出てくる。

生徒会の生徒等から、利用する若い人の意見を取り入れるべき。

利用促進の面から、SNSで発信するなどの広報も含めて、皆が利用したい施設を目指しては。

(委員)

津山水泳連盟としては、競技力向上などが常に頭にある。

以前、平成19年まであった公認プール（旧津山市営プール）を老朽化によ

り取り壊した際に、「また、別の場所に公認プールを作る」と約束されていた経緯がある。

久米市民プールを建て直すという話があるので、是非公認プールをと思って

いる。

公認プールにしないと、県大会以上の公式大会が開催できない。

現在、県北では公認大会が出来ていない。

県内では児島と倉敷の2施設しかない。児島までは2時間かかる。倉敷は老朽化で取り壊しが決まっている。

大会が特定の施設に集中しており、その施設の一般開放に差し支えることから、他に公認大会が出来るプールを作ってほしいという意向が県水泳連盟からもある。

「じぶんごと化会議」でもあったように、小中学校のプール授業について、各プールが非常に老朽化しており、維持修繕費だけでも年1億円程度かかると聞いている。

学校統廃合もあるが、「市営や民間プールを利用しながら水泳授業を行う方が経済的ではないか。」といった答申があったが、学校先生の立場からは移動に時間を取られるから反対の方が多いと思う。

しかし今後は、そういった方向に行かないと立ちゆかなくなるのではないか。

幼・小・中・高を含めて利用しやすいプールを作る必要があるのではないか。さらには競技力向上に県大会以上の公式大会が出来る施設にもしてもらいたい。

さらには、団塊の世代が高齢者となる中で、健康増進にも使える施設としてもらいたい。

(委員)

この委員会は方向性を決めるのではなく、皆さんの意見をいただく事を目的としている。

私も、新施設が出来たら毎日でも歩きに行きたいと考えている。

(委員)

病院でも健康増進管理施設として、会員制の施設を運営している。個人的には利用したことがないが、多くの方が利用されていると聞いている。

施設の中の設計については、どこもほぼ同じような内容になると思っている。

出来た施設について、使える方が使いに来るようになって感じている。

健康増進施設としては、使われる方が集まりやすい場所を用意する必要がある。

ただただ箱物としてプールやジャグジーを設置するだけでなく、運動が出来るフロアとか、〇〇教室や〇〇レッスン等、施設が使ってほしいと思う方に向けてのアクティビティなどを設置すれば、そういったニーズがある方は来てもらえるのではないか。

箱物を作るだけでなく、SNSといった話も出たが、広報も含めて市民の方

が使いやすい施設になれば良いのではないか。

個人的には、高速を通る際に久米市民プールが見えた時、屋外エリアを使われていない時期はくたびれた印象を受ける。

屋外エリアが汚いと、施設全体が運営していないのかと錯覚することもある。

屋外エリアを廃止するのかどうするのかは興味がある。

わいわいがやがや外で遊んでいる姿を見ると、皆で利用しているんだなという印象を受ける。

また、高齢者が談話できるサロンなどがあっても良いのでは。

別件だが、久米市民プール駐車場入り口が狭いのは改善してもらいたい。

委員が施設を見学をすることは可能か。

(事務局)

事前に事務局に相談いただければ、見学等対応します。

(委員)

トレーニングルームなどがあると良いのでは。

あちこちの施設も機器が充実しており、新しく作ると津山市にある民間施設の利用者も、料金が安ければ移動するきっかけとなるのでは。

すると今度は民間と行政を比べられることとなる。そこをマーケットとしてどう見るか。

利益が出なくても健康増進施設として運営するのか、利益を追求するのかで変わってくる。

(委員)

久米市民プールは中北下地区にある。施設があることで、地域の知名度も上がっていると感じている。

2年間休館してしまうのは、寂しく思う。

できれば、先ほどから話が出ている「現在のプールを運営しながら新しく建てる」ことが望ましい。

(委員)

今回はよりいっそうの意見が出されると思っています。

最後に一言。今、岡山・津山に風が吹いていると感じている。

いろいろな施設を視察して内容を決めると思うが、津山にしかないような物を、どこかポイントを作るのが良いかなと思う。

では、次回もたくさんの意見をいただきたいと思いますので、よろしく願います。

(3) その他

・第2回策定委員会の日程

令和5年2月16日(木) 13:30開会  
場所 久米支所 大会議室

・第3回策定委員会の日程

令和5年3月24日(金) 13:30開会  
場所 久米支所 大会議室

7. その他

8. 閉会

<※ 欠席委員の意見>

多くの高齢者がプールで歩行運動などを行っていると聞いている。今後も高齢者にとって使いやすい施設にしていきたい。